

令和7年11月吉日

北原小学校保護者 様

和光市立北原小学校  
校長 樋口普美子

令和7年度の全国及び埼玉県「学力・学習状況調査」の結果について

本年度4・5月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析を行い、学力向上のための取組をまとめましたので、以下の通りお知らせします。

記

## 1 調査の目的・内容

### (1) 全国学力・学習状況調査(対象：第6学年)

#### 【目的】

文部科学省が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることや、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。

#### 【内容】

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し・評価・改善する力等に関わる内容等
- ・生活習慣等についての質問

### (2) 埼玉県学力・学習状況調査(対象：第4学年、第5学年、第6学年)

#### 【目的】

「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という視点とともに、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えて、子供たち一人一人の学びや成長の姿を明らかにするとともに、子供たちの学力の伸びを経年の調査結果から把握する。

#### 【内 容】

- ・国語 算数 生活習慣等についての質問

## 2 本校における調査結果(それぞれの調査結果を踏まえたもの)

### 《本校の良い点》

- 国語ではどの学年も県平均・市平均を上回り、良好な結果がでています。「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方、我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと、書くこと」「読むこと」の全ての領域でよくできていました。
- 算数ではどの学年も県平均・市平均を上回り、良好な結果がでています。「図形」「測定」「データの活用」についてどの学年も良好な結果が出ています。
- 「相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができる。」「学校の友達は自分のよいところを認めてくれる。」「規則正しい生活を送ることができた。」「自分にはよいところがある。」「将来の夢や目標を持っている。」と答えた児童が多くいます。

### 《本校の課題》

- 勉強するときに計画を立てて始めること。勉強する前にこれから何を勉強しなければならないかについて考えること。自分で決めた計画にそって行うこと。などの計画を立てて勉強していく質問の内容でできていると答えた児童が少なかったです。
- 国語では、どの学年も漢字の対する知識を高め、文法を正しく理解した上で、文章を正確に読み、登場人物の心情や文章の内容を的確に読み込んでいくことが必要である。
- 算数では、計算問題に関して児童によって得手不得手の差が大きいです。
- 将来を見据え、学習に対し意欲的な児童が多いが、既習事項や実生活と結びつけて学習することができていない児童が多いです。
- 勉強しているときに、やった内容を覚えているかどうかを確かめること。勉強しているとき、たまに止まって、一度やったところを見直すこと。など、学習を振り返ることができていないと答えた児童が多いです。
- 勉強のやり方が自分に合っているかどうか考えながら勉強する。という質問項目で当てはまると答えた児童が少なかったです。
- 脱いだ履き物をそろえる。机・ロッカーの整理整頓。授業の準備などができていないと答える児童が多いです。

### 《本校の取り組み》

- ☆国語は昨年度より読書活動を推進している。今年度も朝読書を中心に読書活動を進めています。また読み聞かせも行っていただき、活字や文章に触れる機会を増やしています。国語タイムでは文法の学習・読解の内容に取り組んでいます。
- ☆算数では、算数タイムの充実、休み時間の算数個別指導の活動など児童が算数に触れる環境を充実させていきます。また算数の授業には専科が授業をする形式をとり、専門的かつ個に応じた指導を充実していきます。
- ☆生活習慣については担任も引き続き指導していきます。ご家庭でも授業の準備・読書をする事への声かけよろしくお願ひします。
- ☆勉強するときに計画を立てる、実施する、見直すという習慣を付けさせます。授業の中でも計画を立て実施する習慣が身に付くよう取り組んでいきます。